

平成23年東京都内建設工事死亡災害事例

建設業労働災害防止協会東京支部

No.	月	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
1	1月	建築工事業	とび工	50歳代	25年以上 30年未満	複数のエレベーターが建物の吹抜け空間に横に並んで設けられた形式のエレベーターで、エレベーター及びカウンターウェイトのガイドレールを保持する枠状の設備（ブラケット）の補修工事を行うため、被災者がブラケット上でつり足場（トピック足場）を取り付けていたところ、別会社の作業員が隣のエレベーターを上昇させ、そのカウンターウェイトが降下して被災者に激突した。	激突され	エレベータ、リフト
2	1月	土木工事業	舗装工	50歳代	15年以上 20年未満	道路工事現場において、トラックからドラグショベルを降ろす作業を行っていた。トラックの荷台後方に2枚の道板をかけ、被災者がドラグショベルを運転して道板の上を走行していたところ、片側の道板が荷台から外れ、被災者はドラグショベルと共に転落した。	墜落、転落	作業床、歩み板
3	2月	建築工事業	電工	40歳代	20年以上 25年未満	被災者は、新築工事現場で電気工事作業の後片付け作業中、ワンボックスカーの屋根に取り付けてあるキャリアに資材を積み込むため、キャリアの上に乗って固定しようとした際、バランスを崩して道路に墜落した。	墜落、転落	乗用車
4	3月	土木工事業	管理者	20歳代	1年以上 5年未満	被災者は、夜間道路工事の現場監督補助業務を行っており、前夜9時ころから現場付近の路上に会社の車を止めて、発電機を車内に持ち込んで電源とし、車内でパソコンを用いて書類を作成していた。翌朝、車内で心肺停止状態となっている被災者を、上司が発見した。助手席の窓が10cmくらい開いていたが、一酸化炭素中毒と推定される。	有害物等との接触	有害物
5	4月	建築工事業	内装工	20歳代	1年未満	大阪府内の事業場から3名でトラックに同乗し、被災者が運転して、東京都内の現場へ向かう途中、高速道路のカーブで中央分離帯に激突し、さらにその弾みで反対側のコンクリート壁に激突して、被災者は脳挫傷により死亡し、他の2名も負傷した。	交通事故（道路）	トラック
6	4月	土木工事業	橋梁工	50歳代	10年以上 15年未満	高速道路の高架の橋脚の内外における腐食補修作業において、被災者は橋脚外面の補修終了後、単独でその橋脚のつり足場の清掃作業を行っていた。当日の作業終了時に、集合場所に被災者が見当たらないため探したところ、その橋脚の内部で被災者が倒れていた。橋脚内部で一酸化炭素が検出されたので、一酸化炭素中毒と推定される。	有害物等との接触	有害物
7	5月	その他の建設業	技術者	50歳代	35年以上 40年未満	機械装置の増設工事において、引渡し前の試運転を行ったところ、鋼材をチェーンコンベヤーに送り出す装置（プッシャー）のエアシリンダーの作動に不具合があったため、調査・点検を行っていた。作業責任者が安全確認を行った上でエアシリンダーの動作確認を行っていたところ、一時的に作業場所を離れていた被災者が、作業場所に戻った際にエアシリンダーに近づき、作動させたエアシリンダーとコンベヤーとの間に身体を挟まれた。	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械
8	5月	その他の建設業	その他の職種	50歳代	30年以上 35年未満	被災者は、外国で施工されている自動運搬システムの設置工事に出張し、ケージ（昇降運搬装置の搬器）に乗って上昇させ、点検・調整を行っていた。5m程度上昇した所で、絡んでいたためワイヤロープが巻上機のドラムから外れて、ケージが前側に傾き、被災者はケージから墜落した。	墜落、転落	その他の動力クレーン等
9	5月	建築工事業	その他の作業員	40歳代	1年以上 5年未満	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋新築工事において、アースドリルのバケットを別種のバケットに交換するため、オペレーターが、上部旋回体を旋回させたところ、被災者が杭穴の墜落防止用の手すりとはアースドリルのカウンターウェイトとの間にはさまれた。被災者は、杭穴のベントナイト液の水位状況等を確認していた。	はさまれ、巻き込まれ	基礎工事用機械

No.	月	業種	職種	年齢	経験	発 生 状 況	事故の型	起 因 物
10	5月	建築工事業	とび工	30歳代	1年未満	14階建て建築物の大規模修繕工事において、外壁の修繕が終了し、わく組足場の解体作業を行っていた。被災者は、足場の最上層で、解体した鳥居わく2つを背負うように持ち、その層の鳥居わくが取り外された部分を歩いて運搬していたところ、地面まで37.5m墜落した。	墜落、転落	足場
11	7月	建築工事業	とび工	40歳代	20年以上 25年未満	鉄骨・鉄筋コンクリート造の家屋建築工事において、被災者は、既存建物を解体するための足場設置に使用する部材を、既存建物の屋根の上で運搬していたところ、屋根の天窓を踏み抜き、約11m墜落した。	墜落、転落	屋根等
12	7月	土木工事業	作業員・ 技能者	70歳代	5年以上 10年未満	河川改修工事現場において、作業開始前で駐車してあったドラグショベルの後方で、被災者が作業で使う木枠を作成していたところ、作業場所へ移動しようとしてバックしてきたドラグショベルにひかれた。	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械
13	7月	建築工事業	れんが積 工、タイル 張工	60歳代	25年以上 30年未満	3階建て木造家屋の新築工事において、被災者は、3階外壁に防水シートを張るため、防水シートを持って2階ベランダから外部足場（一側足場、床幅24cm）に渡り移動していたところ、足場の外側に設けられた昇降用はしごの付近で墜落した。はしごへ移動しようとしたとき又ははしごを上っていたときに、足を踏み外したと推定される。	墜落、転落	階段、さん 橋
14	8月	土木工事業	土工	50歳代	10年以上 15年未満	橋梁の建設工事現場において、被災者は、測量の前段階である草刈り作業を行っていたところ、蜂に刺され、近くにある休憩場所まで歩いて行き休んでいたが、意識不明となり病院に搬送されたが死亡した。蜂刺されによるアナフィラキシーショックであった。	その他	その他の環 境等
15	8月	その他の建設業	軽作業員	40歳代	5年以上 10年未満	マンション1階にある飲食店の看板取替工事において、被災者は、路上から立てかけたはしご上の高さ約3mのところ作業していたところ、路上に墜落した。	墜落、転落	はしご等
16	8月	土木工事業	とび工	30歳代	15年以上 20年未満	駅に地上から地下階へのエスカレーターを設置するため、階段の側壁を7つに切断したコンクリート塊を、移動式クレーンを使用して搬出する作業を行っていた。被災者は、コンクリート塊の一つを玉掛けし、隣のコンクリート塊（約3.8t）の横に退避していたが、移動式クレーンでつり上げようとしたときに隣のコンクリート塊が倒れ、被災者が下敷きになった。	崩壊、倒壊	建築物、構 築物
17	9月	その他の建設業	とび工	50歳代	25年以上 30年未満	鉄骨造ビルの新築工事に伴う機械式立体駐車場の設置工事において、被災者ほか1名が、立体駐車場の昇降路内に設置されたゴンドラに搭乗して昇降路の柱を組立てていたところ、高さ約12mのところからゴンドラが落下し、被災者ほか1名もゴンドラと共に墜落した。	墜落、転落	ゴンドラ
18	9月	土木工事業	管理者	30歳代	10年以上 15年未満	道路トンネルの換気所建設工事において、地上からコンクリートポンプ車を使用してコンクリート打設を行っていたところ、配管内でコンクリートが閉塞した。作業を中止して、被災者ほか4名で同ポンプ車のフレキシブルホースと地下に繋がる配管とを切り離れたところ、フレキシブルホースが大きく振れて、ホース先端のバルブ部分が被災者に激突した。	激突され	その他の建設用機械

No.	月	業種	職種	年齢	経験	発 生 状 況	事故の型	起 因 物
19	9月	その他の建設業	電工	20歳代	1年以上 5年未満	建築物の新築工事において、被災者は、テナント用バックヤードで、はしごを使用して非常用照明器具の設置作業を行っていたが、天井配管に取り付けた安全帯によりぶら下がった状態で発見された。何らかの原因で感電したものと推定される。	感電	送配電線等
20	9月	建築工事業	設備機械工	40歳代	15年以上 20年未満	ビルの新築工事において、被災者は、作業中のタワークレーン（クライミング式ジブクレーン）の上の巻上ドラムと起伏ドラムとの間で、クレーンの旋回状況等を現場事務所でモニタリングするための無線LAN機器の配線作業を行っていたところ、腰から垂れた状態だった安全帯のロープが回転した起伏ドラムのワイヤロープ取付部に引っ掛かり、起伏ドラムとクレーン床面との間に身体を巻き込まれた。	はさまれ、 巻き込まれ	クレーン
21	10月	その他の建設業	土工	60歳代	25年以上 30年未満	資材仮置場において、大型トラックの荷台から砂利の入った屯袋（フレキシブルコンテナバッグ、約1t）をバックホウ（ドラグショベル）でつり上げて降ろす作業を行っていたところ、荷台で作業していた被災者が、荷台に積まれた屯袋とバックホウでつり上げた屯袋とに挟まれた。	激突され	掘削用機械
22	10月	建築工事業	作業員・技能者	60歳代	5年以上 10年未満	民家の改修工事現場において、被災者は、単管抱き足場の2段目（高さ約4.5m）から地上に降りようとしてその途中で墜落した。	墜落、転落	足場
23	11月	その他の建設業	その他の職種	40歳代	15年以上 20年未満	被災者がエレベーターの定期点検作業を1名で行っていたところ、エレベーターの昇降中に、着用していた安全帯のロープがエレベーター昇降路内部の扉側の部材に引っ掛かり、腹部を圧迫された。	はさまれ、 巻き込まれ	エレベータ、 リフト
24	11月	建築工事業	大工	60歳代	40年以上	木造2階建て共同住宅の補修工事において、被災者は、2階共用通路に組んだ脚立足場（高さ1.2m）から降りようとして共用通路の手すり（高さ0.8m）の上に足をかけたところ、足を滑らせて共用通路の外側の1階通路の屋根部分（共用通路の手すりから約1.1m下）に転落し、さらに同屋根の端から地面まで約2.7m墜落した。	墜落、転落	足場
25	12月	建築工事業	作業員・技能者	60歳代	25年以上 30年未満	ビルの新築工事において、被災者は、地上から高さ5m17cmのひさしの上の作業場所（幅1m65cm）で、仮置きした足場材の荷降ろし作業を行っていたところ、地上へ墜落した。	墜落、転落	作業床、歩 み板
26	12月	土木工事業	軌道工	60歳代	20年以上 25年未満	地下鉄の軌道の分岐器（複数の軌道を切り替える部分。レールと枕木とが一体となっている。）設置工事において、仮設レールを敷いて分岐器を運び、4台の吊上機（人力ウインチ）で分岐器を持ち上げた状態で、仮設レール等の撤去を行っていたところ、吊上器が倒れ、被災者は倒れてきたレール及び枕木と壁との間に挟まれた。その他、壁側付近にいた労働者のうち2名が同様に挟まれ、分岐器の上にいる労働者1名が転倒して負傷した。	崩壊、倒壊	人力クレーン等